

# 経営改善及び連携・活用に関する取組評価

## (令和4(2022)年度)

<b>法人名(団体名)</b>	公益財団法人川崎市文化財団	<b>所管課</b>	市民文化局市民文化振興室
-----------------	---------------	------------	--------------

### 経営改善及び連携・活用に関する方針

<b>法人の概要</b>	<p>(1) 法人の事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術の創造及び発信</li> <li>・文化芸術活動の支援及び協働</li> <li>・文化施設の管理・運営</li> <li>・その他公益目的事業の推進に資する事業</li> </ul> <p>(2) 法人の設立目的</p> <p>市民の文化芸術活動の振興を図り、もって川崎市における文化芸術の創造を促進します。</p> <p>(3) 法人のミッション</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・多様な文化芸術事業の実施(市民の文化芸術活動の振興、川崎市における文化芸術の創造を促進、多様なジャンルの文化芸術事業の推進)</li> <li>・文化芸術施設の管理運営(市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場を提供、文化芸術の創造と発信、文化芸術活動の支援と協働を推進)</li> <li>・効率的な事業運営(財団全体の組織力を結集、経営感覚に富んだ効率的な事業運営)</li> </ul>						
<b>本市施策における法人の役割</b>	<p>誰もが気軽に文化芸術に触れ、多くの市民が文化芸術の楽しさを感じることができるよう、文化芸術活動を振興し、市民が文化芸術活動に参加しやすい環境づくりを進めることが必要であり、財団は市とともに文化施策を担う両輪となって、多様な文化芸術事業の実施、文化芸術施設の効果的な運営を行うとともに、市民の主体的な文化芸術活動を促進するために、文化芸術に係る中間支援の取組を推進することが求められます。</p> <p>さらに、平成30年には障害者による文化芸術活動の推進に関する法律が制定されるなど、文化芸術を通じたダイバーシティ(多様性)とソーシャル・インクルージョン(社会的包摂)を実現することが求められています。また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、市内の文化芸術活動も大きな影響を受けており、社会変容を踏まえた取組や、文化芸術団体等を支援することも求められているところです。</p> <p>市制100周年を迎える令和6(2024)年を見据え、文化芸術を持続的に振興していくためには、文化芸術の専門組織である財団の役割はますます大きくなるものと思われまます。</p>						
	法人の取組と関連する市の計画	市総合計画上関連する政策等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 50%;">政策</th> <th style="width: 50%;">施策</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td style="text-align: center;">政策4-8 スポーツ・文化芸術を振興する</td> <td style="text-align: center;">施策4-8-2 市民の文化芸術活動の振興</td> </tr> </tbody> </table>	政策	施策	政策4-8 スポーツ・文化芸術を振興する	施策4-8-2 市民の文化芸術活動の振興
政策	施策						
政策4-8 スポーツ・文化芸術を振興する	施策4-8-2 市民の文化芸術活動の振興						
	関連する市の分野別計画	川崎市文化芸術振興計画【R1～5】					
<b>現状と課題</b>	<p>(1) 現状</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術の振興を目的として設立された川崎市文化財団は、多様な文化芸術事業の実施、文化芸術施設の管理運営等の公益性の高い事業を展開しています。平成29年度より市の文化芸術施策の中核を担うための財団の機能強化を進め、「音楽のまち・かわさき」推進協議会事務局と機能統合した上で、本市職員を1名派遣するなど組織強化を図るとともに、浮世絵ギャラリーの運営、バラアート推進事業の実施など、新たな文化芸術事業の取組を展開しています。</li> <li>・経営面においては、施設使用料収入、入場料収入等を主たる収入源としていたところ、新型コロナウイルスの感染拡大により施設使用料収入等が大幅な減収となったことから、財団において収支改善の取組を進めています。しかし、施設運営等にかかる固定経費(建物の賃借料、人件費等)が大きな割合を占めることなどから、その取組の効果は限定的です。</li> </ul> <p>(2) 課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本市における文化芸術の振興のために、財団が文化芸術振興に関する専門性やノウハウを蓄積し、魅力的な文化芸術事業のさらなる展開、優秀な人材の確保・育成、中間支援機能の強化に努める必要があります。</li> <li>・新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえ、従前の文化芸術事業の効果検証を行いながら、社会変容に対応した文化芸術事業を構築する必要があります。</li> <li>・管理運営する文化芸術施設について、稼働率や老朽化等の課題があり、その対応を図りながら、施設の有効活用を図っていく必要があります。</li> <li>・自立的な財団運営に向けて、財団の経営基盤の強化が求められています。新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、効率的な施設運営等による支出削減を行うとともに、新たな自己収入の確保も求められます。</li> </ul>						
<b>取組の方向性</b>	<p>(1) 経営改善項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団が主催する文化芸術事業について、参加者数の増加、効率的な経費執行を図り、収益性を高めるとともに、新たな自己収入の確保に努めます。</li> <li>・管理運営する文化芸術施設について、施設の有効活用の見地から稼働率の向上に向けた取組を進め、収益性を高めます。</li> <li>・自己収入割合を向上させるとともに、効率的な施設運営等による支出の削減をすすめ、財団経営の健全化を進めます。</li> </ul> <p>(2) 連携・活用項目</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・財団において、より魅力のある文化芸術事業の企画・実施、施設の管理運営を適正かつ効果的に行うとともに、広報、相談、ネットワーク構築など中間支援の取組を強化して、誰もが文化芸術に親むることができる環境の整備を行います。市は、財団と密接に連携し、事業効果の振り返りと適切な支援を行いながら、人材育成などの財団の自主的な取組を促していきます。</li> <li>・平成30年度より本市職員(係長級)を財団に派遣していますが、財団の人材育成等の取組を進め、中間支援のための組織・事業体制を整備するために、市が財団の組織・事業に関与していくことが必要です。</li> </ul>						

# 本市が法人に求める経営改善及び連携・活用に関する取組

## 4か年計画の目標

(施策推進に向けた取組)

○社会変容を踏まえた多様な文化芸術事業の実施、運営施設の利用促進、文化芸術に係る中間支援の取組を推進し、文化芸術の一層の振興を推進します。

(経営健全化に向けた取組)

○自己収入を増加させるとともに、効率的な施設運営等による支出の効率化をすすめることで収益性の強化及び自立性の強化を図り、財団経営の健全化を進めます。

(業務組織に関する取組)

○川崎市の文化芸術振興に寄与する専門組織として、研修等を通じた人材育成を行うなど、職員の専門性の向上を図り、財団の組織強化を推進します。

### 1. 本市施策推進に向けた事業取組

取組No.	事業名	指標	現状値 (令和3 2021)年度)	目標値 (令和4 2022)年度)	実績値 (令和4 2022)年度)	単位	達成度 (※1)	本市による評価 -達成状況 (※2) -費用対効果 (※3)	今後の取組の方向性 (※4)
①	財団本部事業	財団所管施設の稼働率	44.5	42.0	50.1	%	a	A	I
		財団所管施設における財団主催事業の参加者数	3,553	3,600	4,395	人	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	431,373 (534,981)	402,939 (539,522)	408,052 (555,711)	千円	2)	
②	指定管理事業	指定管理施設の稼働率	62.4	59.0	65.2	%	a	A	II
		指定管理施設における主催事業の参加者数	112,627	104,000	133,887	人	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	970,176 (1,383,444)	960,863 (1,574,777)	990,821 (1,544,348)	千円	2)	
③	文化芸術に係る中間支援	文化芸術に係る相談件数	97	110	119	件	a	A	II
		WEBサイトにて広報支援を行った市内での文化芸術イベントの件数	1,099	1,550	1,617	件	a		
		事業別の行政サービスコスト	本市財政支出 (直接事業費)	27,868 (28,048)	30,355 (30,355)	27,515 (27,705)	千円	1)	

### 2. 経営健全化に向けた取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021)年度)	目標値 (令和4 2022)年度)	実績値 (令和4 2022)年度)	単位	達成度	本市による評価 -達成状況	今後の取組の方向性
①	収益性の強化	主要な経常収益(市財政支出を除く)	466,267	556,000	593,167	千円	a	A	I
②	自立性の確保	経常費用のうち市財政支出の負担割合	73.1	67.0	66.6	%	a	A	II
		一般正味財産額	465,770	347,810	502,767	千円	a		

### 3. 業務・組織に関する取組

取組No.	項目名	指標	現状値 (令和3 2021)年度)	目標値 (令和4 2022)年度)	実績値 (令和4 2022)年度)	単位	達成度	本市による評価 -達成状況	今後の取組の方向性
①	職員の専門性の向上	研修への参加回数	20	16	24	回	a	A	I

(※1)【 a. 目標値以上、b. 現状値以上～目標値未満、c. 目標達成率60%以上～現状値未満、d. 目標達成率60%未満】

(行政サービスコストに対する達成度については、1. 実績値が目標値の100%未満、2. 実績値が目標値の100%以上～110%未満、3. 実績値が目標値の110%以上～120%未満、4. 実績値が120%以上)

(※2)【A. 目標を達成した、B. ほぼ目標を達成した、C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった、D. 現状を下回るものが多くあった、E. 現状を大幅に下回った】

(※3)【(1). 十分である、(2). 概ね十分である、(3). やや不十分である、(4). 不十分である】

(※4)【 I. 現状のまま取組を継続、II. 目標の見直し又は取組の改善を行い取組を継続、III. 状況の変化により取組を中止】



## 法人及び本市による総括

【令和3(2021)年度取組評価における本市の総括コメントに対する法人の受止めと対応】

本市施策推進に向けた事業取組については、新型コロナウイルスの影響も落ち着いたことから、財団本部所管各施設とも稼働率、主催事業の参加者数は令和3年度を上回り、目標値を達成しました。中間支援の取組は「Colorsかわさき2022展」におけるワークショップやパラアートミーティングを開催したことから、相談件数は令和3年度より22件増加し、目標値も達成しました。

経営健全化については令和4年度は、施設の休館や利用時間の繰上げ等を実施せず、また、新型コロナウイルスの影響も落ち着いたことありますが、各施設ともに稼働率や主催事業参加者数の増加に向けた取組を進めたことにより、入場料収益、施設利用料収益は令和3年度を上回り、主要な経常収益(市財政支出を除く)は令和3年度より126,900千円増加し、目標値を達成しました。

業務・組織に関する取組については、職員の専門性の向上について新型コロナウイルスの影響も落ち着いたこともあり、外部研修(24回)への積極的な参加により、業務に必要な幅広い知識の習得を促進し、職員の能力向上、意識の醸成を図り、財団職員としての専門的知識を向上しました。特に情報漏洩防止については外部講師を招き、コンプライアンス研修を実施いたしました。

経営基盤の強化については、令和4年度は、施設の休館や利用時間の繰上げ等を実施せず、また、新型コロナウイルスの影響も落ち着いたこと、また、令和3年度の市の総括を踏まえ、財団本部所管施設や指定管理3施設の稼働率の向上や主催事業の集客等に取り組むとともに、社会変容を見据えた有料の動画配信(ミュージアム川崎シンフォニーホールのサマーミュージアム、川崎市アートセンターの主催事業)を実施したことなどにより、各施設の稼働率や主催事業の参加者数、事業収益は令和3年度を上回り、目標値を達成しました。文化芸術に係る中間支援については、財団情報紙「アートニュース」での展覧会情報の提供や「colorsかわさき2022展」におけるワークショップ、パラアートミーティングを開催し、文化芸術の情報発信に努めるとともに、パラアートに関する相談窓口をはじめ、市民の文化芸術活動に関する相談に対応しました。

【令和4(2022)年度取組評価の結果を踏まえ、本市が今後法人に期待すること、対策の強化を望む部分など】

本市施策推進に向けた事業取組については、多様な手法を用いた積極的な広報や施設の多目的利用を進めるなど、各施設の稼働率や主催事業参加者数の増加に向けた取組を進めたことで、目標を達成することができました。また、文化芸術に係る中間支援の取組においては、事業実施を通して、様々な文化団体とつながりを広げることで、目標を達成し、文化芸術に係る中間支援を通じた文化芸術の振興に寄与することができました。

経営健全化に向けた取組についても、新型コロナウイルスによる影響も落ち着いたことありますが、各施設の稼働率や主催事業参加者数の増加に向けた取組に加え、国庫補助金を獲得するなどにより、目標を達成することができました。

業務・組織に関する取組については、文化芸術を通して、社会的課題の解決や意識の醸成を図るのに業務上必要な幅広い専門的知識を習得するため、積極的に外部研修に参加したことで、目標を達成することができました。

新型コロナウイルスの影響は落ち着いてきてはいるものの、まだ完全には文化活動が回復していない中で、持続的な文化芸術を振興していくためには、文化芸術の専門組織である財団の役割はますます大きくなるものと思われます。

経営基盤の強化に向けては、施設利用料の増収、国等の助成金の活用などの従来の自己収入確保の取組をさらに推進するとともに、協賛金の募集などの取組も継続していく必要があります。また、文化芸術の振興に向けては、多様な文化芸術事業の実施、文化芸術施設の効果的な運営を行うとともに、市内の多様な文化団体とのつながりを拡充し、文化芸術に係る中間支援の取組を推進することが求められます。

今後とも、より緊密な連携による進捗管理を行うことで、運営状況を的確に把握していくことが必要と考えます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市文化財団	所管課	市民文化局市民文化振興室
----------	---------------	-----	--------------

## 1. 本市施策推進に向けた事業取組①(令和4(2022)年度)

事業名	財団本部事業
計画(Plan)	
現状	財団は、川崎能楽堂等の文化芸術施設を運営し、文化芸術振興に係る多様な主催事業を実施しています。公益事業として収支の均衡をとることが難しい状況にあるところ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って利用キャンセルが多く発生するなど、施設運営や事業実施に大きな影響を受けているところではありますが、これらの事業は市民が文化芸術に触れるきっかけとなるものであり、事業実施方法の転換も視野にいれながら、その機会を増やしていく必要があります。
行動計画	様々な媒体を活用した施設広報、社会変容を踏まえた多用途での施設利用、施設相互の連携、施設の利便性の向上等に向けた取組を進め、段階的な施設稼働率の向上を図ります。併せて、地域の文化資源やIT技術を活用した多様な文化芸術事業を実施し、事業に関する市民ニーズや効果を検証しながら参加者数の増加を図ります。
具体的な取組内容	<p>【指標1関連】 稼働率向上に向けて、ホームページや広報紙等による情報発信、施設周辺企業や過去利用者等への積極的な広報を行います。稼働率が低い能楽堂について、広報動画の活用や他分野での施設利用の促進、川崎市と連携して、市民祭りやかわさききたテラスにチラシを配付します。新たに、施設紹介やイベント情報、貸館案内等を記載した「能楽堂チラシ」を作成するとともに、能楽堂ホームページに利用用途や申請方法を追加し、より利用しやすいよう改修します。アートガーデンでは多目的利用の推進、トウエンティワンホールでは多目的ホールの月利用制限の緩和を継続するとともに、トウエンティワンホールの直近割を、プラザソルの低廉な一般利用料金を検討します。</p> <p>【指標2関連】 主催事業の参加者数増に向けて、アンケート等により市民ニーズの把握を行い、より魅力的な事業を実施するとともに、ホームページや広報紙、チラシ等による情報発信、SNSや動画等を活用した積極的な広報を行います。また、ラゾーナ寄席の広報動画によるPRなど、社会変容を踏まえた事業企画、オンラインを活用した取組を行います。具体的には、各イベントや浮世絵企画展ごとの積極的な新聞社等へのプレスリリース、子ども狂言教室の校長会を通じた小中学校への周知、浮世絵ギャラリーにおける東海道川崎宿起立400周年事業と連携したイベント「歌川広重 行書・隷書東海道展」の実施、川崎駅周辺の宿泊施設におけるチラシ配布やポスター掲示、HPでのギャラリー(施設)紹介の協力の働きかけなどに取り組みます。</p>

## 実施結果(Do)

本市施策推進に向けた活動実績	【指標1関連】 稼働率向上に向けて、ホームページや広報紙等による情報発信など積極的に広報を行いました。能楽堂については、市民祭りやかわさききたテラスにチラシを配付し、広報に努めるとともに、能楽堂の施設紹介のパンフレットをリニューアルし、施設紹介に加え、イベント情報、貸館案内等を掲載しました。また、能楽堂ホームページを改修し、利用用途や申請方法を追加しました。アートガーデンについては、多目的利用の促進として、新たに会議室利用での貸出を開始し、トウエンティワンホールは引き続き、多目的ホールの月利用制限の緩和を行いました。文化芸術活動の促進と稼働率の向上、増収策として、プラザソルでは文化芸術活動の促進の観点から、直近割を「文化・芸術及びそれに類する利用」に拡充することを、トウエンティワンホールでは「多目的ホール利用」への特別割引の導入について検討し、令和5年度から実施する予定です。																																																															
	【指標2関連】 主催事業の参加者数の増加に向けて、アンケートの意見を踏まえ、能楽堂では要望が多かった企画を実施しました。ホームページや広報紙、チラシ等による情報発信、SNSやラゾーナ寄席、能楽堂PRの動画等を活用した積極的な広報を行いました。各イベントや浮世絵企画展ごとの積極的な新聞社等へのプレスリリース、子ども狂言教室の校長会を通じた小中学校への周知を実施しました。浮世絵ギャラリーでは、川崎宿起立400年を控え、斎藤コレクションの名品の中から、「行書 東海道」と「隷書 東海道」という2つの東海道作品を並べ、見比べる企画展「歌川広重 行書・隷書東海道」展を実施しました。また、JR川崎駅と連携し、ポスターの掲示やチラシ・配架のみならず、駅主催の観光イベントの参加者の受け入れや案内図への掲載など多面的な協力関係を築くとともに、ホテル緑道、メトロポリタン、川崎信用金庫、横浜銀行などの地元の事業者とチラシの配架や事業者の利用者特典として施設をご案内いただくなどの取組を行いました。浮世絵ギャラリーのホームページでは、展示作品を中心に画面でも浮世絵を楽しんでいただけるよう工夫し、現在、定例化しているギャラリートークの開催日のお知らせを掲載しました。																																																															
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">(各施設の稼働率)</th> <th colspan="4">(各施設の主催事業参加者数)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R4目標値</th> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R4目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>川崎能楽堂</td> <td>27.0</td> <td>33.0</td> <td></td> <td>川崎能楽堂</td> <td>1,518</td> <td>1,768</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ラゾーナ川崎プラザソル</td> <td>72.9</td> <td>80.4</td> <td></td> <td>ラゾーナ川崎プラザソル</td> <td>765</td> <td>871</td> <td></td> </tr> <tr> <td>新百合トウエンティワンホール</td> <td>43.2</td> <td>48.5</td> <td></td> <td>新百合トウエンティワンホール</td> <td>21</td> <td>389</td> <td></td> </tr> <tr> <td>アートガーデンかわさき</td> <td>43.3</td> <td>60.1</td> <td></td> <td>アートガーデンかわさき</td> <td>972</td> <td>1,111</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>川崎浮世絵ギャラリー(年間バスポート)</td> <td>277</td> <td>256</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>44.5</td> <td>50.1</td> <td>42.0</td> <td>計</td> <td>3,553</td> <td>4,395</td> <td>3,600</td> </tr> </tbody> </table> <p>【その他】 川崎浮世絵ギャラリーは、総入場者数11,584人で令和3年度より2,319人減少しました。 「川崎・しんゆり芸術祭(アルテリッカしんゆり)」は実行委員会の構成員として参加し、入場者数は14,912人で令和3年度より5,338人増加しました。</p>	(各施設の稼働率)				(各施設の主催事業参加者数)					R3年度	R4年度	R4目標値		R3年度	R4年度	R4目標値	川崎能楽堂	27.0	33.0		川崎能楽堂	1,518	1,768		ラゾーナ川崎プラザソル	72.9	80.4		ラゾーナ川崎プラザソル	765	871		新百合トウエンティワンホール	43.2	48.5		新百合トウエンティワンホール	21	389		アートガーデンかわさき	43.3	60.1		アートガーデンかわさき	972	1,111						川崎浮世絵ギャラリー(年間バスポート)	277	256		計	44.5	50.1	42.0	計	3,553	4,395
(各施設の稼働率)				(各施設の主催事業参加者数)																																																												
	R3年度	R4年度	R4目標値		R3年度	R4年度	R4目標値																																																									
川崎能楽堂	27.0	33.0		川崎能楽堂	1,518	1,768																																																										
ラゾーナ川崎プラザソル	72.9	80.4		ラゾーナ川崎プラザソル	765	871																																																										
新百合トウエンティワンホール	43.2	48.5		新百合トウエンティワンホール	21	389																																																										
アートガーデンかわさき	43.3	60.1		アートガーデンかわさき	972	1,111																																																										
				川崎浮世絵ギャラリー(年間バスポート)	277	256																																																										
計	44.5	50.1	42.0	計	3,553	4,395	3,600																																																									

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	財団所管施設の稼働率	目標値	/	42.0	46.0	50.0	54.0	%
	説明 川崎市能楽堂、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合トウエンティワンホール(多目的ホール等)、アートガーデンかわさきの合計の区分利用率	実績値	44.5	50.1				
2	財団所管施設における財団主催事業の参加者数	目標値	/	3,600	4,400	5,200	6,000	人
	説明 川崎市能楽堂、ラゾーナ川崎プラザソル、新百合トウエンティワンホール、アートガーデンかわさき(浮世絵ギャラリー含む)における主催事業の参加者数	実績値	3,553	4,395				
<b>指標1 に対する達成度</b>		<b>a</b>	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満					
<b>指標2 に対する達成度</b>		<b>a</b>	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b>								
令和4年度は、施設の休館や利用時間の繰上げ等を実施せず、また、新型コロナウイルスの影響も落ち着いたことから、稼働率、主催事業の参加者数は令和3年度を上回り、目標値を達成しました。特に、アートガーデンの稼働率は令和3年度より16.8%増加しており、回復傾向にあります。								

本市による評価

区分	区分選択の理由
A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">A</div> 改善に向けた取組を進めたことで、「財団所管施設の稼働率」「財団所管施設における財団主催事業の参加者数」の実績値が、いずれも目標を達成することができ、施設の管理運営、主催事業の実施を通して市民の文化活動の場の提供及び文化芸術に触れる機会の創出ができたため。

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	402,939 (539,522)	369,189 (506,272)	437,944 (574,527)	404,840 (541,923)	千円
	説明 本市財政支出(直接事業費)	実績値	431,373 (534,981)	408,052 (555,711)				
<b>行政サービスコスト に対する達成度</b>		<b>2)</b>	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上					
<b>法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)</b>								
新型コロナウイルス感染症対策経費等に係る補助金は減少したため、令和4年度の行政サービスコスト(本市財政支出)は減少しましたが、電気料等の光熱費の高騰により財政支出(5,995千円)が影響し、目標値を超えてしまいました。								

本市による評価

区分	区分選択の理由
(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	<div style="font-size: 2em; font-weight: bold; margin: 0;">(2)</div> 新型コロナウイルス感染症対策経費等に係る補助金が減少したため、前年度より行政サービスコスト(本市財政支出)は減少したものの、光熱水費の増等により、目標値の範囲を超えてしまったが、指標1と指標2の目標は達成できたため。

改善 (Action)	
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<div style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold; margin-bottom: 10px;">I</div> 稼働率、主催事業の参加者数とも目標値を達成しており、引き続き、現行の取組を推進するとともに、アートガーデンや能楽堂の多目的利用、プラザソルでは「直近割」を「文化・芸術及びそれに類する利用」に拡充、トウエンティワンホールでは「多目的ホール利用」への特別割引の導入を行い、さらなる稼働率の向上と参加者数の増に取り組みます。また、国庫補助金等の状況に注視し、経常収益の増に努めます。浮世絵ギャラリーは入場者数が減少したため、運営改善計画に基づき、人気作品の企画展や観光関係企業等への働きかけなどさらに取組を進めます。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市文化財団	所管課	市民文化局市民文化振興室
----------	---------------	-----	--------------

## 本市施策推進に向けた事業取組②(令和4(2022)年度)

事業名	指定管理事業
<b>計画 (Plan)</b>	
現状	<p>市民の自発的かつ創造的な文化芸術活動の場として、指定管理施設(ミュージアム川崎シンフォニーホール等)の運営を行っています。新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴って利用キャンセルが多く発生するなど、施設運営や事業実施に大きな影響を受けているところではありますが、事業実施方法の転換も視野に入れながら、市民の文化芸術活動の振興のため、施設稼働率の向上、主催事業の参加者の増加を図る必要があります。</p> <p>【各施設の指定管理期間】          ミュージアム川崎シンフォニーホール: R2~R11          川崎市アートセンター: R4~R8          東海道かわさき宿交流館: H30~R4</p>
行動計画	<p>様々な媒体を活用した各施設の広報、社会変容を踏まえた多用途での施設利用、施設の利便性の向上等に向けた取組を進め、段階的な施設稼働率の向上を図ります。併せて、IT技術等も活用した多様な主催事業を実施し、事業に関する市民ニーズや効果を検証しながら参加者数の増加を図ります。</p> <p>なお、各施設の指定管理の継続受託を見据えています。本計画期間中に指定管理者の変更があった場合は各指標の見直しを行います。</p>
具体的な取組内容	<p>【指標1関連】 稼働率の向上に向けて、ミュージアム川崎シンフォニーホールでは、ホームページのリニューアルに合わせて、音楽ホール及び音楽工場の貸館情報に加え、利用者の声を反映し企画展示室と市民交流室の情報を掲載することで、貸館施設の情報強化と利用促進を図ります。川崎市アートセンターや東海道かわさき宿交流館は引き続き、ホームページや広報紙、SNS等を通じて施設広報を積極的にまいります。</p> <p>【指標2関連】 主催事業の参加者数増に向けて、アンケート等により市民ニーズの把握を行い、より魅力的な事業を実施します。令和4年度も、「サマーミュージアム」の動画配信を行うなど、引き続き、社会変容を踏まえた事業企画、最新IT技術の研究等を行います。</p>

## 実施結果 (Do)

本市施策推進に向けた活動実績	<p>【指標1関連】 ミュージアム川崎シンフォニーホールは、令和4年度から5年度にかけてホームページのリニューアルを計画し、貸館施設の情報強化と利用促進に向けて、企画展示室と市民交流室の貸館情報の掲載作業を進めました。また、川崎市アートセンターや東海道かわさき宿交流館は引き続き、ホームページや広報紙、SNS等を通じて施設広報を積極的にまいりました。</p> <p>【指標2関連】 各施設とも、主催事業の参加者数増に向けて、ホームページや広報紙、チラシ等による広報を積極的にまいりました。また、アンケートを参考に、ミュージアム川崎シンフォニーホールでは、映画音楽の演目やサマーミュージアムのイベント企画の参考にしました。さらに、令和4年度も「サマーミュージアム」の動画配信を行い、社会変容を踏まえた事業を実施しました。</p> <p>【その他】 川崎市アートセンターは、開館15周年事業として、令和4年度にフランス映画「どん底」の配給権を取得し、令和5年度に全国ミニシアターでの上映(有料貸出)を計画しています。また、令和3年度に導入した動画配信システムを活用し、しんゆりシアター劇団公演などの主催事業の有料配信を行いました。 東海道かわさき宿交流館は、開館10周年事業(令和4、5年度)として、令和4年度に「市民ミュージアム」から川崎宿のジオラマを借り受け、展示しており、令和5年度はその改修を行い、更なる活用につなげ、川崎宿起立400年を盛り上げていきます。HPIについて、令和5年度に、より見やすく、わかりやすく改善するため準備を進めています。</p>																																																
	<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th colspan="4">(各施設の稼働率)</th> <th colspan="4">(各施設の主催事業参加者数)</th> </tr> <tr> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R4目標値</th> <th></th> <th>R3年度</th> <th>R4年度</th> <th>R4目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ミュージアム川崎シンフォニーホール</td> <td>74.5</td> <td>77.8</td> <td></td> <td>ミュージアム川崎シンフォニーホール</td> <td>59,216</td> <td>71,800</td> <td></td> </tr> <tr> <td>川崎市アートセンター</td> <td>42.7</td> <td>49.6</td> <td></td> <td>川崎市アートセンター</td> <td>52,041</td> <td>60,437</td> <td></td> </tr> <tr> <td>東海道かわさき宿交流館</td> <td>45.6</td> <td>51.8</td> <td></td> <td>東海道かわさき宿交流館</td> <td>1,370</td> <td>1,650</td> <td></td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>62.4</td> <td>65.2</td> <td>59.0</td> <td>計</td> <td>112,627</td> <td>133,887</td> <td>104,000</td> </tr> </tbody> </table>	(各施設の稼働率)				(各施設の主催事業参加者数)					R3年度	R4年度	R4目標値		R3年度	R4年度	R4目標値	ミュージアム川崎シンフォニーホール	74.5	77.8		ミュージアム川崎シンフォニーホール	59,216	71,800		川崎市アートセンター	42.7	49.6		川崎市アートセンター	52,041	60,437		東海道かわさき宿交流館	45.6	51.8		東海道かわさき宿交流館	1,370	1,650		計	62.4	65.2	59.0	計	112,627	133,887	104,000
(各施設の稼働率)				(各施設の主催事業参加者数)																																													
	R3年度	R4年度	R4目標値		R3年度	R4年度	R4目標値																																										
ミュージアム川崎シンフォニーホール	74.5	77.8		ミュージアム川崎シンフォニーホール	59,216	71,800																																											
川崎市アートセンター	42.7	49.6		川崎市アートセンター	52,041	60,437																																											
東海道かわさき宿交流館	45.6	51.8		東海道かわさき宿交流館	1,370	1,650																																											
計	62.4	65.2	59.0	計	112,627	133,887	104,000																																										

## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	指定管理施設の稼働率	目標値	62.4	59.0	63.0	67.0	71.0	%
	説明 ミュージアム川崎シンフォニーホール(音楽ホール等)、川崎市アートセンター(小劇場、映像館)、東海道かわさき宿交流館(集会室等)の合計の区分利用率	実績値		65.2				
2	指定管理施設における主催事業の参加者数	目標値	112,627	104,000	124,000	144,000	164,000	人
	説明 ミュージアム川崎シンフォニーホール、川崎市アートセンター、東海道かわさき宿交流館における主催事業の参加者数	実績値		133,887				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)		
令和4年度はミュージア川崎シンフォニーホールで海外オーケストラが1公演中止となったことなど、新型コロナの影響はあったものの、施設の休館や利用時間の繰上げ等を実施しなかったことに加え、広報を積極的に行ったことから、指定管理各施設とも稼働率、主催事業の参加者数は令和3年度を上回り、目標値を達成しました。		

	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A

行政サービスコスト		目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト	目標値	/	960,863 (1,574,777)	981,917 969,963 (1,599,224) (1,578,170)	981,117 969,963 (1,625,332) (1,605,078)	981,117 969,963 (1,607,722) (1,587,468)	千円
	説明	本市財政支出 (直接事業費)		実績値	970,176 (1,383,444)	990,821 (1,544,348)		

行政サービスコスト に対する達成度	2)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上
----------------------	----	--

法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)		
電気料等の光熱費の高騰により施設管理に係る支出が増加したことに加え、川崎市アートセンターは第4期指定管理期間の初年度に当たり、体制見直し等に伴う人件費増により指定管理料が増加したため、行政サービスコストは目標値を超えてしまいました。		

	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1). 十分である (2). 概ね十分である (3). やや不十分である (4). 不十分である	(2)

改善 (Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	II

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市文化財団	所管課	市民文化局市民文化振興室
----------	---------------	-----	--------------

## 本市施策推進に向けた事業取組③(令和4(2022)年度)

**事業名** 文化芸術に係る中間支援

### 計画(Plan)

<b>現状</b>	<p>財団は、市が現在、検討を進めている「アート・フォー・オール」の考え方も踏まえ、広報、相談、ネットワークの構築、ボランティア等の人材育成など、文化芸術に係る中間支援の役割を担うことが期待されています。新型コロナウイルス感染症の影響で文化芸術活動が様々な制限を受けるなか、その中間支援の役割の重要性は増えています。</p> <p>財団は、これまで音楽やパラアートを重点分野として、その中間支援の実績を蓄積してきましたが、そのノウハウを文化芸術全般へ広げていくことが求められます。</p>
<b>行動計画</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・文化芸術に関する相談に幅広く対応できるよう、職員のスキルアップを図るとともに、相談窓口の広報周知の取組を行います。</li> <li>・財団が管理する「『音楽のまち・かわさき』推進協議会」、「ばらあーとねっと」のWEBサイトを周知するとともに、社会変容により文化芸術活動が多様化していることも踏まえ、様々な媒体に多くのイベント情報を掲載し、文化芸術活動の広報を通じた支援を行います。</li> <li>・文化芸術公演の主催者に対する会場使用料等の助成など、新型コロナウイルス感染症の文化芸術活動への影響を踏まえた中間支援の取組を行います。ただし、令和5年度以降の取組については、新型コロナウイルス感染症の動向も踏まえる必要があることから、事業内容に変更があった場合には、事業別の行政サービスコストの目標値の見直しを行う場合があります。</li> </ul>
<b>具体的な取組内容</b>	<p><b>【指標1関連】</b> 相談窓口について、パラアートは、情報サイト「ばらあーとねっと」に関する令和3年度に作成したチラシの配布先の拡大を検討・実施し、音楽のまちは「プチマガジン(リーフレット)」により引き続き、音楽のまち・かわさき事業を広報します。具体的には、ばらあーとねっとのチラシ(裏面にメール相談を記載)の学校関係への配布、プチマガジンの情報収集案内を目につくよう改善し、相談件数の増を図ります。</p> <p><b>【指標2関連】</b> パラアートについて、職員が情報を収集している現状を踏まえ、上記のとおり、チラシにより「ばらあーとねっと」の周知を図ります。音楽のまち・かわさきでは、「プチマガジン(リーフレット)」のイベント情報案内を見やすく改善するとともに、ホームページのリニューアルに合わせて、川崎で音楽活動をする人たちの情報を把握し、各音楽団体等への繋がりを促進する「イベントレポート」の充実を図り、広報支援の件数増に努めます。そのほかにも多様な文化芸術イベントについて、市内ギャラリーの展覧会情報などを掲載したアートニュースを毎月9、600部発行し、各区役所や市民館・図書館、市立小中学校や高等学校、市内公共施設に配架し、広報支援を行います。</p> <p><b>【その他】</b> パラアート作品について、令和4年度から、川崎市生涯学習プラザと川崎市青少年の家で常設展示を行います。「Colorsかわさき2022展」の巡回展を市営バス車内及びノクティブラザに加えて、令和4年度はサンビアンかわさきでも実施します。また、令和4年度も、会場使用料等を補助する「川崎市文化芸術活動応援事業」をホームページ等で広報し、実施します。中間支援の取組として、「colorsかわさき2022展」においてワークショップ(3日間)やパラアートミーティング(1日)、連携イベント(主催:川崎ルフロン、幸区役所、川崎市など)を実施します。</p>

### 実施結果(Do)

<b>本市施策推進に向けた活動実績</b>	<p><b>【指標1、2関連】</b> ばらあーとねっとのチラシ(裏面にメール相談を記載)について、新たに、特別支援学校校長会等の協力により、市立特別支援学校4校(聾学校、中央支援学校、田島支援学校及び同桜校)に配布しました。</p> <p>「音楽のまち・かわさき」推進協議会が発行するプチマガジン(リーフレット)に掲載するイベント情報を積極的に募集するため、相談件数や広報支援数の増に向け、同紙にミュートンによる募集案内欄を設け、「イベント登録ページ」の二次元コードを追加することにより、情報収集案内が目立つように改善を行いました。また、ホームページのリニューアルに合わせて、川崎で音楽活動をする人たちの情報を把握し、各音楽団体等へのつながりを促進する「イベントレポート」の充実を図りました。アートニュースを毎月9、600部発行し、また、財団HPに掲載することにより、アートガーデンやミュージアム企画展示室、浮世絵ギャラリー、市内各ギャラリーの展覧会情報を発信しました。</p> <p>なお、FacebookやInstagramによる情報発信を行っているところですが、高齢者や新規の関心層などに幅広く広報するために紙媒体による情報発信も引き続き継続します。</p> <p><b>【その他】</b> パラアート作品の常設展示について、川崎市生涯学習プラザでは令和4年8月から、川崎市青少年の家では令和4年10月から実施しました。「Colorsかわさき2022展」の巡回展を市営バス5台(令和4年10月25日～11月21日)及びノクティブラザ5階及び9階自由通路(令和4年12月9日～11日)で実施、サンビアンかわさき(令和4年11月5日開催「働く者のフェスタ」)で展示及び来場者参加型のワークショップを実施しました。</p> <p>会場使用料等を補助する「川崎市文化芸術活動応援事業」をホームページ等で広報、実施し、186団体に20、802千円の助成を行い、ほぼ予算額を執行しました。「colorsかわさき2022展」のワークショップ等について、イベントでは11月13日にミュージアム1階ギャラリーで幸区主催の「はび☆こん」と連携、来場者参加型のワークショップとして11月13日にWS「リクエストでどうぶつを描く」を、11月15日に社会福祉法人なごみ福祉会夢花工房の指導による「木のおもちゃに好きな色や模様を描こう」を、11月19日に「Colors鑑賞会」を、11月20日に「色紙で立体をつくろう」をそれぞれ実施しました。また、11月14日にパラアートミーティングとして「障害福祉施設での音楽ワークショップのアイデア」を開催しました。川崎市健康福祉局が実施する障がい者の就労体験事業に協力し、本展開催中の受付業務等で延べ18人の方が就労体験しました。</p>
-----------------------	---



## 評価 (Check)

本市施策推進に関する指標			目標・実績	R3年度 (現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	文化芸術に係る相談件数		目標値		110	120	130	140	件
	説明	財団(「音楽のまち・かわさき」推進協議会を含む)において対応した、文化芸術に関する相談件数	実績値	97	119				
2	WEBサイトにて広報支援を行った市内での文化芸術イベントの件数		目標値		1,550	1,800	2,050	2,300	件
	説明	財団のWEBサイト(「『音楽のまち・かわさき』推進協議会」、「ばらあーとねっと」等)に掲載した市内での文化芸術イベントの件数	実績値	1,099	1,617				
指標1 に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満						
指標2 に対する達成度		a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載						

### 法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)

中間支援の取組として、「Colorsかわさき2022展」においてワークショップやパラアートミーティングを開催したことから、相談件数は令和3年度より増加し、目標値も達成しました。アートニュースを毎月9,600部発行し、また、財団HPに掲載することにより、アートガーデンやミュージアム展示室、浮世絵ギャラリー、市内各ギャラリーの展覧会情報を発信したことから、広報支援を行った市内での文化芸術イベント件数は令和3年度より増加し、目標値を達成しました。

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A	成果指標である「文化芸術に係る相談件数」は119件となり、目標値の110件を達成することができ、また「WEBサイトにて広報支援を行った市内での文化芸術イベントの件数」は1,617件となり、目標値の1,550件を達成するとともに、相談や広報支援を通じてネットワークの構築を図るなど、中間支援により、文化芸術の振興に寄与することができたため。

行政サービスコスト			目標・実績	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	事業別の行政サービスコスト		目標値		30,355 (30,355)	6,776 30,355 (6,776) (30,355)	6,776 30,355 (6,776) (30,355)	6,776 30,355 (6,776) (30,355)	千円
	説明	本市財政支出(直接事業費)	実績値	27,868 (28,048)	27,515 (27,705)				
行政サービスコスト に対する達成度		1)	1). 実績値が目標値の100%未満 2). 実績値が目標値の100%以上～110%未満 3). 実績値が目標値の110%以上～120%未満 4). 実績値が目標値の120%以上						

### 法人コメント(行政サービスコストに対する達成度について)

パラアート推進事業について、市民が文化芸術に触れる機会の提供と障害の有無に関わらず文化芸術を楽しむことができるパラアートの更なる振興を図ることができたことに加え、コロナ禍における文化芸術団体支援の取組として、会場使用料等を助成する「川崎市文化芸術活動応援事業」において、185団体に20,360千円を助成し、市内文化芸術施設の利用促進を図るとともに、市民の文化芸術を鑑賞する機会を拡充することができました。

本市による評価	費用対効果 (「達成状況」と「行政サービスコストに対する達成度」等を踏まえ評価)	区分	区分選択の理由
		(1)	行政サービスコストが目標値の範囲内であるとともに、音楽やパラアートをはじめ、市民の文化芸術活動に関する相談に対応するとともに、「ばらあーとねっと」「音楽のまち・かわさき」推進協議会のホームページを運用する等、中間支援に取り組むことにより、指標1及び指標2は目標を達成することができたため。

## 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	II	引き続き、積極的に研修を受講し文化芸術に関する職員のスキルアップ(相談への対応やFacebookやInstagramの技術習得)を図ることで、適切でより効果的な相談業務や広報業務を行ってまいります。さらに、文化財団の広報紙など様々な媒体に多くのイベント情報を掲載するなど、文化芸術活動の広報を通じた支援を行います。なお、コロナ禍における取組である会場使用料等を助成する「川崎市文化芸術活動応援事業」について、令和5年度以降は実施しないことから、当該事業分(23,579千円)を行政サービスコストの目標値から減額します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市文化財団	所管課	市民文化局市民文化振興室
----------	---------------	-----	--------------

## 2. 経営健全化に向けた取組①(令和4(2022)年度)

項目名	収益性の強化
<b>計画(Plan)</b>	
現状	<p>主要な経常収益(事業収益)から市の委託料・指定管理料を除いた財団の自己収入は、新型コロナウイルス感染症の影響で令和2年度以降大きく減少しましたが、財団の経営基盤を強化して、新たな事業展開や優秀な人材の確保等の課題に対応するためには、自己収入を増やしていく必要があります。</p>
行動計画	<p>主催事業の実施による入場料収入や施設利用の促進による施設利用料収入の増加等により、段階的な自己収入の増加を図っていきます。</p>
具体的な取組内容	<p>様々な媒体やSNSを活用して、主催事業を積極的に広報し、入場料収入を増加させるとともに、引き続き、21ホール多目的ホール等の平日利用制限見直しなど施設利用策を推進し、利用料収入の増収を図ります。浮世絵ギャラリーでは、改善計画に基づき、川崎市や財団施設、イベント等と連携し、入場者数の増に努めるとともに、物品販売の促進を図ります。ミュージアム川崎シンフォニーホールにおける友の会について広く周知するために、R4年度はサマーミュージアム期間にブースを設置し、「友の会」の紹介と勧誘を行います。また、「ウイズコロナ」への対応と事業の採算性を考慮し、フェスタサマーミュージアム等の有料動画配信事業を検討、実施します。能楽堂の和室料金の改定を検討します。</p> <p>「ラゾーナ寄席」の紹介動画や「ミュートンと行く川崎能楽堂探検」動画の継続配信、浮世絵ギャラリーでは東海道交流館と連携した「浮世絵講座」や同交流館での浮世絵ギャラリーの紹介、東海道川崎宿起立400周年事業と連携し、イベントとして「歌川広重 行書・隷書東海道展」の実施、川崎駅周辺の宿泊施設におけるチラシ配布やポスター掲示、HPでのギャラリー(施設)紹介の働きかけ、かわさきジャズ会場でのグッズ販売、旅行会社と連携し、「街歩き」ツアー等で使用するマップへの施設掲載や団体客の受け入れなどに取り組みます。</p>

## 実施結果(Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p>広報紙やチラシ、ホームページをはじめ、SNSやラゾーナ寄席、能楽堂PRの動画等、様々な媒体を活用して、主催事業を積極的に広報し、入場料収入を増加させるとともに、トウエンティワンホールの多目的ホールの平日利用制限見直しの継続、アートガーデンの多目的利用の取組として、会議室利用を開始したことで利用料収益の増加を図りました。浮世絵ギャラリーでは、「夏休み 親子で楽しむ 浮世絵講座」の開催や、川崎宿起立400年を控えたイベントの実施など魅力ある企画展を開催し、JR川崎駅や地元川崎の事業者の協力により施設をご案内いただくなどの取組を行いました。また、旅行会社等への働きかけにより、浮世絵ギャラリーを含むツアーが実施されました。集客力の向上と広報の充実にに向けた取組として、これまでの新聞社招待券に加え、令和4年11月から自治体向けの福利厚生事業でのチケット販売を開始し、さらに、12月からは、娯楽施設のサブスクリプションサービスである「レジャパス」での利用を開始しました。このような、入場者数増に向けた浮世絵ギャラリーを知ってもらう取組を進め、収益の増加を図るよう努めました。また、ミュージアム川崎シンフォニーホールにおける「友の会」については、サマーミュージアム期間にブースを設置し、紹介と勧誘を行いました。さらに、フェスタサマーミュージアム等の有料動画配信事業を令和4年度も実施し、配信視聴料として4,949千円の収入を確保しました。また、パラアート事業における令和3年度から始めた「Colorsかわさき展」協賛金は190千円と令和3年度より増額(20千円)となりました。</p>
---------------	---

## 評価(Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	主要な経常収益(市財政支出を除く)	目標値		556,000	592,000	628,000	664,000	千円
	説明 主要な経常収益(事業収益)から市財政支出額(委託料・指定管理料)を除いた額	実績値	466,267	593,167				
指標1に対する達成度		a	<p>a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満</p> <p>※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載</p>					
<p><b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b></p> <p>令和4年度は、浮世絵ギャラリーについては、収支改善に向けた様々な取組を実施したものの、結果として十分な効果が得られず、昨年度に引き続き赤字が生じてしまいましたが、他の施設については、休館や利用時間の繰上げ等を実施せず、また、新型コロナの影響も落ち着いたこととありますが、稼働率や主催事業参加者数の増加に向けた取組を進めたことにより、入場料収益、施設利用料収益などの主要な経常収益(市財政支出を除く)は令和3年度より126,900千円増加し、目標値を達成しました。</p>								

本市による評価

達成状況

区分	区分選択の理由
<p>A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った</p>	<p><b>A</b></p> <p>浮世絵ギャラリーについては、収支改善に向けた様々な取組を実施したものの、結果として十分な効果が得られず、昨年度に引き続き赤字が生じてしまいましたが、各施設それぞれ稼働率や主催事業参加者数の増加に向けた取組を進めたこと等により、収益の増加につながり、目標値を達成したため。</p>

## 改善(Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市文化財団	所管課	市民文化局市民文化振興室
----------	---------------	-----	--------------

## 経営健全化に向けた取組②(令和4(2022)年度)

項目名	自立性の確保
<b>計画(Plan)</b>	
現状	<p>経常費用に対する市財政支出(補助金、指定管理料)の割合は、新型コロナウイルス感染症に係る逸失収入補償金を計上したことなどより、令和2年度以降大きく増加しましたが、自己収入の増加と当該収入に基づく費用の執行に努めて、市からの財政支援依存度を低減し、財団の自立性を確保する必要があります。</p> <p>一般正味財産額については、新型コロナウイルス感染症等の影響で減収となったため、減少の傾向にあります。財団経営の安定性、自立性を確保する観点から、一般正味財産の確保に取り組む必要があります。</p>
行動計画	<p>有料事業の実施、協賛金の確保等により事業収入の増加を図るとともに、市に依存しない事業執行に努めることで、市からの財政支援依存度の低減を図っていきます。</p> <p>収支均衡に向けた取組を推進し、一般正味財産額の確保に取り組めます。</p>
具体的な取組内容	<p><b>【指標1関連】</b> 様々な媒体やSNSを活用して、主催事業を積極的に広報し、入場料収入を増加させるとともに、21ホール多目的ホール等の平日利用制限見直しなど施設利用策を推進し、利用料収入の増収を図ります。浮世絵ギャラリーにおける物品販売の促進、ミュージアム川崎シンフォニーホールにおける友の会収入及び協賛金、バラアート事業における寄附金の確保と増に努めます。フェスタサマーミュージアの有料動画配信など「ウイズコロナ」に対応した事業を実施します。国や県の補助金・助成金の動向を注視し、また、情報を共有して、積極的に活用します。支出について、既存事業の見直し、委託業務の一括入札などによる予算執行の効率化により支出を削減し、効率的な事業運営を行います。これらの取組により、経常費用のうち市財政支出の負担割合を低減します。浮世絵ギャラリーでは、川崎駅周辺の宿泊施設におけるチラシ配布やポスター掲示、HPでのギャラリー(施設)紹介の働きかけ、旅行会社と連携し、「街歩き」ツアー等で使用するマップへの施設掲載や、団体客の受け入れなどを実施し、自己収入の増を図ります。</p> <p><b>【指標2関連】</b> 公益事業の収支相償の原則を踏まえ、施設管理及び物品販売の収益事業を積極的に展開し、また、補助金・助成金を活用するとともに、効率的な予算執行により、財団全体として収支均衡を図り、一般正味財産額の一定額の確保に努めます。</p>

## 実施結果(Do)

経営健全化に向けた活動実績	<p><b>【指標1関連】</b> 広報紙やチラシ、ホームページをはじめ、SNSやラゾーナ寄席、能楽堂PRの動画等、様々な媒体を活用して、主催事業を積極的に広報し、入場料収入を増加させるとともに、トウエンティワンホールの多目的ホールの平日利用制限見直しの継続、アートガーデンの多目的利用の取組として、会議室利用を開始したことで利用料収益の増加を図りました。浮世絵ギャラリーでは、「夏休み親子で楽しむ浮世絵講座」の開催や、川崎宿起立400年を控えたイベントの実施など魅力ある企画展を開催し、JR川崎駅や地元川崎の事業者の協力により施設をご案内いただくなどの取組を行いました。また、旅行会社等への働きかけにより、浮世絵ギャラリーを含むツアーが実施されました。集客力の向上と広報の充実に向けた取組として、これまでの新聞社招待券に加え、令和4年11月から自治体向けの福利厚生事業でのチケット販売を開始し、さらに、12月からは、娯楽施設のサブスクリプションサービスである「レジャパス」での利用を開始しました。このような、入場者数増に向けた浮世絵ギャラリーを知ってもらう取組を進め、収益の増加を図るよう努めました。また、令和3年度から始めたバラアート事業においては令和3年度から始めた「Colorsかわさき展」協賛金は190千円と令和3年度より増額(20千円)となりました。能楽堂の委託業務について仕様を見直し、受付業務と定期清掃業務を合わせて委託することにより、経費の削減を図りました。フェスタサマーミュージアの有料動画配信事業を令和4年度も実施し、フェスタサマーミュージアは配信視聴料として4,949千円の収入を確保しました。自立性の確保に向け、上記のとおり自己収入の増加を図りましたが、市財政支出については、前年度と比較し、新型コロナ対応に係る分が減少しましたが、光熱費高騰による影響から、例年より光熱費に係る財政支出が増加しました。</p> <p><b>【指標2関連】</b> 公益事業は収支相償の原則による事業執行と文化庁等の補助金の活用、収益事業は施設管理事業及び物品販売事業による収益の確保、法人会計は効率的な予算執行と経済産業省の「事業復活支援金」を獲得し、財団全体として収支均衡を図り、一般正味財産額を確保いたしました。</p>
---------------	---

## 評価(Check)

経営健全化に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	経常費用のうち市財政支出の負担割合	目標値	73.1	67.0	65.2	65.2	63.6	%
	説明 経常費用に対する市財政支出(補助金、委託料、指定管理料)の割合	実績値		66.6				
2	一般正味財産額	目標値	465,770	347,810	502,767 331,940	502,767 323,940	502,767 323,940	千円
	説明 一般正味財産額	実績値		502,767				

指標1 に対する達成度	a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満
指標2 に対する達成度	a	※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載
<b>法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)</b>		
<p>(指標1)令和4年度は、施設の休館や利用時間の繰上げ等を行わず、計画どおり、各事業を実施したため、経常費用は令和3年度より181,633千円増加しました。事業収益については、新型コロナの影響も落ち着いたことありますが、各施設ともに稼働率や主催事業参加者数の増加に向けた取組を進めたことにより、入場料収益や施設利用料収益などで令和3年度より126,900千円増加したことなどから、経常費用のうち市財政支出の負担割合は令和3年度より減少し、かつ、目標値を達成しました。(指標2)文化庁や経済産業省等国庫補助金を獲得するなど、自己収入の確保の取組を進めたことに加え、新型コロナの影響が想定よりも小さかったことから、目標を達成することができました。</p>		

	<b>達成状況</b>	<b>区分</b>	<b>区分選択の理由</b>
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	<b>A</b> 経常費用は令和3年度より増加しましたが、各施設ともに稼働率や主催事業参加者数の増加に向けた取組を進めたことにより、入場料収益や施設利用料収益など事業収益が増加したことに加え、国庫補助金を獲得するなど、自己収入の確保に努めた結果、経常費用のうち市財政支出の負担割合は目標値を達成したため。また、収益増加の取組を進めたことに加え、新型コロナの影響が想定よりも小さかったことから、一般正味財産の減少を抑えることができたため。

改善 (Action)		
実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	
	方向性区分	方向性の具体的内容
I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	<b>II</b>	引き続き、施設利用料収益、友の会収益など事業収益の確保、国庫補助金の活用、経費の効率的執行等に取り組むとともに、魅力的な企画や演目の実施、広報の工夫等により集客効果を高め入場料収益の向上に取り組めます。また、川崎市の観光関連部署や観光協会などと引き続き連携するとともに、今後、新たな収益を確保できるような企業・団体等との連携について調査研究し、様々な魅力ある事業の展開に努めてまいります。 なお、本取組の指標2「一般正味財産額」については、新型コロナウイルス感染症の影響により一般正味財産額の減少を見込み、令和7年度までに収支均衡が図られるよう目標を設定しましたが、新型コロナの影響が落ち着いたことから、令和5年度以降の目標値を収支相償の原則に基づき変更します。

法人名(団体名)	公益財団法人川崎市文化財団	所管課	市民文化局市民文化振興室
----------	---------------	-----	--------------

### 3. 業務・組織に関する取組①(令和4(2022)年度)

項目名	職員の専門性の向上
<b>計画 (Plan)</b>	
現状	文化芸術の専門組織として、職員のスキルアップを図り専門性を向上させることは大きな課題であり、財団では、施設や職域ごとに文化芸術等に関する職員研修を実施しています。
行動計画	施設ごとに実施している研修を合同で実施したり、国等が主催する外部の研修に職員を積極的に派遣するなどし、職員のスキルアップを図るとともに、研修の内容を職員間で共有するなどし、組織としての専門性向上やサービス向上につなげます。
具体的な取組内容	財団職員としての基礎的な研修(文書、経理・契約、接遇、危機管理等)とともに、文化施設職員としての専門性の向上研修(舞台音響照明、アートマネジメント等)を計画的に実施します。各施設と財団本部の合同研修や施設見学(施設説明)などを開催し、職員の能力向上と意識の醸成、他施設の理解を深め、人材育成を図ります。 文化庁や全国公立文化施設協会、川崎商工会議所等主催の外部研修に、計画的かつ積極的に職員を参加させ、能力向上を図ります。

### 実施結果 (Do)

業務・組織に関する活動実績	<p>【指標1関連】 川崎商工会議所、全国公立文化施設協会、地域創造、神奈川県公立文化施設協会等が主催する各種研修に積極的に参加し、職員の資質の向上、スキルアップを図りました。社会環境に応じて、財団管理職を対象とする「ハラスメント研修(社労士講師)」を開催、川崎市主催のLGBT研修や神奈川県障害者自立生活支援センター主催の「心のバリアフリー推進員養成研修講座」に参加しました。職員が担当業務に活かすべく、率先して、「インクルージョンを考える講座」や「新聞記者に学ぶ広報紙作りの基礎講座」、「令和4年度協働・連携研修」等の研修に参加しました。「親世流能楽」を鑑賞し、知識の向上を図りました。</p> <p>【その他】 内部研修(3回)として、「職員コミュニケーション研修(財団本部、ミュージア、川崎市職員参加)」や「財団施設見学(アートセンター職員が本部施設やミュージア等を見学)」、「契約事務研修(ミュージア)」を実施しました。</p>
---------------	---

### 評価 (Check)

業務・組織に関する指標		目標・実績	R3年度(現状値)	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	単位
1	研修への参加回数	目標値	20	16	20	24	28	回
	説明 専門性向上等のための研修への財団職員の参加回数	実績値		24				
指標1に対する達成度		a	a. 実績値が目標値以上 b. 実績値が現状値(個別設定値)以上～目標値未満 c. 実績値が目標値の60%以上～現状値(個別設定値)未満 d. 実績値が目標値の60%未満 ※個別設定値を設定している場合は指標の説明欄に記載					
法人コメント(指標に対する達成度やその他の成果等について)								
新型コロナの影響が落ち着いたこともあり、外部研修(24回)への積極的な参加により、業務に必要な幅広い知識の習得を促進し、職員の能力向上、意識の醸成を図り、財団職員としての専門的知識を向上しました。専門性向上等の外部研修への参加回数は24回と令和3年度及び目標値を上回りました。財団管理職を対象とする「ハラスメント研修(社労士講師)」開催や川崎市主催のLGBT研修や神奈川県障害者自立生活支援センター主催の「心のバリアフリー推進員養成研修講座」に参加するなど、社会環境に応じた研修を実施・参加しました。職員が率先して、外部研修に参加するなど、職務に対する意欲の向上、意識の醸成が図られています。								

本市による評価	達成状況	区分	区分選択の理由
		A. 目標を達成した B. ほぼ目標を達成した C. 目標未達成のものがあるが一定の成果があった D. 現状を下回るものが多くあった E. 現状を大幅に下回った	A 文化芸術を通して、社会的課題の解決や意識の醸成を図るのに業務上必要な幅広い専門的知識を習得するため、積極的に外部研修に参加し、目標を達成したため。

### 改善 (Action)

実施結果(Do)や評価(Check)を踏まえた今後の取組の方向性	方向性区分	方向性の具体的内容
	I. 現状のまま取組を継続 II. 目標の見直し又は取組の改善を行い、取組を継続 III. 状況の変化により取組を中止	I

法人(団体名)	公益財団法人川崎市文化財団	所管課	市民文化局市民文化振興室
---------	---------------	-----	--------------

●法人情報

(1)財務状況

収支及び財産の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
正味財産増減計算書	(一般正味財産増減の部)					
	経常収益	1,980,168	2,137,125			
	経常費用(事業費)	1,796,353	1,972,669			
	経常費用(管理費)	122,072	127,390			
	うち減価償却費	19,085	22,118			
	当期経常増減額	61,743	37,067			
	経常外収益					
	経常外費用					
	税引前当期一般正味財産増減額	61,743	37,067			
	当期一般正味財産増減額	61,673	36,997			
(指定正味財産増減の部)						
当期指定正味財産増減額						
正味財産期末残高	497,549	534,546				
貸借対照表	総資産	733,831	758,435			
	流動資産	350,116	350,250			
	固定資産	383,715	408,185			
	総負債	236,282	223,889			
	流動負債	236,282	223,889			
	固定負債					
	正味財産	497,549	534,546			
指定正味財産	31,779	31,779				
一般正味財産	465,770	502,767				
主たる勘定科目の状況(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
経常収益	事業収益	1,436,580	1,584,117			
経常費用	委託費(事業費+管理費)	556,524	662,966			
総資産	特定資産	139,091	140,557			
総負債	有利子負債(借入金+社債等)					
本市の財政支出等(単位:千円)		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
補助金		431,237	407,921			
負担金						
委託料		136	129			
指定管理料		970,176	990,820			
貸付金(年度末残高)						
損失補償・債務保証付債務(年度末残高)						
出捐金(年度末状況)		30,000	30,000			
(市出捐率)		100.0%	100.0%			
財務に関する指標		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度
流動比率(流動資産/流動負債)		148.2%	156.4%			
有利子負債比率(有利子負債/正味財産)						
経常収支比率(経常収益/経常費用)		103.2%	101.8%			
正味財産比率(正味財産/総資産)		67.8%	70.5%			
経常費用に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常費用)		73.1%	66.6%			
経常収益に占める市財政支出割合 (補助金+負担金+委託料+指定管理料)/経常収益)		70.8%	65.5%			

法人コメント		本市コメント
現状認識	今後の取組の方向性	本市が今後法人に期待することなど
<p>各事業に対する新型コロナウイルスの影響が小さかったことなどから、入場料収益や施設利用料収益等の増加により、経常収益は21億37百万円となり、経常費用は各事業の再開や電気代高騰等により前年度より増加し21億円となりました。流動比率は150%、経常収支比率は100%を超えており、経営の安定性は一定程度確保できています。</p> <p>正味財産比率は前年度の67.8%から70.5%に上昇し、新型コロナウイルスの影響が改善され、全体的に施設の稼働率が上がり経常収益に占める市財政支出割合も65.5%に改善いたしました。引き続き、自己収入の増に努める必要があります。</p>	<p>魅力的な企画の立案や積極的な広報を行い、入場料収入や多目的利用による施設利用料収入など自己収入の増に努めるとともに、国補助金等を積極的に活用し、収益の確保に努めてまいります。</p> <p>また、財団運営の健全化や安定化に向けて、補助事業の内容を精査し、委託業務内容の見直し等を検討し、事業運営の効率化を図ることにより、支出の抑制に努めます。</p>	<p>本法人は、本市と共に文化芸術振興の施策を実現する協働のパートナーとして非常に大きな役割を担っています。</p> <p>多くの文化芸術施設を運営しておりますが、令和4年度は新型コロナウイルスの影響は改善され、正味財産は増加しました。</p> <p>今後も引き続き文化芸術事業及び施設運営の収益性を高めて自己収入の増加に努めるとともに、事業コストの削減を図ることで経営基盤を強化し、より安定した事業実施体制を構築することを期待します。</p>

(2)役員・職員の状況(令和5年7月1日現在)

	常勤(人)			非常勤(人)		
	合計	(うち市派遣)	(うち市OB)	合計	(うち市在職)	(うち市OB)
役員	1	0	1	9	0	0
職員	47	0	12	0	0	0

【備考】

- 総役員に占める本市職員及び退職職員の割合が3分の1を超過していることについての法人の見解
- ・理由
- ・今後の方向性